

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	大学における医療人養成の在り方に関する調査研究			担当部局庁	高等教育局	作成責任者			
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医学教育課	医学教育課長 伊藤 史恵			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	健康・医療戦略(平成26年7月22日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2014について(平成26年6月24日閣議決定) 日本再興戦略改訂2014(平成26年6月24日閣議決定) 社会保障制度改革国民会議報告書(平成25年8月6日)				
主要政策・施策				主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大学・大学院及び大学病院において、我が国における今後の社会・経済構造の変化に伴う保健医療分野のニーズに対応した人材養成を行うため、今後の人材養成の在り方及びそのための環境整備の在り方等を検討し、教育内容・方法等の改善・充実を図り、調査・研究を実施することで、将来の医療提供体制の構築及び研究開発体制の整備に貢献することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	医師、歯科医師、その他の医療関係職種について、将来の医療提供体制の構築に向けて、大学・大学院において、今後どのような医療人材養成を行っていくべきか検討するための調査・研究を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	36	66	30	45	82		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		36	66	30	45	82		
	執行額		27	55	30	-			
執行率(%)		75%	83%	100%	-				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		75%	83%	100%	-				
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	大学改革推進委託費	45	82	令和4年度までは6テーマ(継続3件、新規3件)だったが、令和5年度においては継続3件、新規要求6件の計9テーマであるため、増額となった。					
	諸謝金	0.1	0.2						
	計	45	82						
活動内容 (アクティビ ティ)	医師、歯科医師、その他の医療関係職種について、将来の医療提供体制の構築に向けて、大学・大学院において、今後どのような医療人材養成を行っていくべきか検討するための調査・研究を行う。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	医師、歯科医師、その他の医療関係職種について、将来の医療提供体制の構築に向けて、大学・大学院において、今後どのような医療人材養成を行っていくべきか検討する	事業実施件数	活動実績	件	4	7	4	-	-
			当初見込み	件	4	7	4	6	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額(千円)/採択件数(件) ※令和4年度活動見込は「予算額/採択見込件数」を記載			単位当たり コスト	千円	6,808	7,914	7,453	7,516
				計算式	執行額(千円)/採択件数(件)	27,233千円/4件	55,395千円/7件	29,892千円/4件	45,101千円/6件

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	調査研究の成果を医学教育等の改善・充実のための国の施策に活用する	成果実績		調査研究の結果のうち、医学教育等の改善・充実のための施策の企画立案へ活用されているものの割合。なお、本事業は複数テーマがあり、1つのテーマが最長3年間実施となるため、中間目標は設定しない。	件	4	7	3
目標値		件	4		7	3	-	-
達成度		%	100		100	100	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	各委託先からの成果報告書							
政策評価 政策 施策	4 個性が輝く高等教育の振興		政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf				
	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上		該当箇所	3頁				
事業所管部局による点検・改善								
国費投入の必要性	項目		評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	健康長寿社会の実現のためには、我が国における医師・歯科医師をはじめとする医療人材を養成していく必要がある。本調査研究はこのような医療人材の養成を着実に進めるために国として取り組むべき施策の企画立案に活用するものであり、社会のニーズを反映したものである。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本調査研究は、今後の社会・経済構造の変化に伴う保健医療分野のニーズに対応できる医療系人材の養成を着実に進めるために国として取り組むべき施策の企画立案に活用するものであり、国が実施すべき優先度の高い事業である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本調査研究は、「健康・医療戦略」等を踏まえ、今後の社会・経済構造の変化に伴う保健医療分野のニーズに対応できる医療系人材の養成を着実に進めるために例え、医学・歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂等、国として取り組むべき施策の企画立案に活用するものである。このため、本調査研究は適切かつ優先度の高い事業である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定に当たっては、文部科学省ホームページ等に公募情報を掲載し、十分な公募期間を確保した上で公募(企画競争)を実施するとともに、有識者のみで構成される選定委員会による審査を実施することにより、その妥当性及び競争性を確保しているが、1件が一者応れであったため、公募情報の提供方法の見直し等を行う。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有					
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	支出先の選定にあたっては、公募(企画競争)を実施し、受益者との負担関係が妥当なものとなっている。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	契約・額の確定の際に、委託費の費目・使途の内容について厳正に確認を行い、妥当なコスト水準かの確認を行っている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	契約・額の確定の際に、再委託先や再委託内容について厳正に確認するなど、資金の流れを確認している。				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	契約・額の確定の際に、委託費の費目・使途の内容について厳正に確認を行い、事業目的に即し真に必要なものに限定することとしている。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	事業期間中に委託先との連絡を密に取り、調査研究の円滑な進行と委託費の適切な使用について確認を行っている。					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	事業目的は医療系人材の養成に在り方に係る調査研究の実施とその成果の活用であり、調査研究結果の活用割合は事業目的にふさわしい成果目標である。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	支出先の選定に当たっては、公募により調査研究を最も効果的、効率的に実施可能な者を選び、事業の実効性・有効性を高めることとしている。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みにおいて想定していたテーマ数の調査研究が着実に実施されている。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本事業で得られた成果報告書については、医療系人材養成の在り方に関する各種検討会での報告等を通じて活用の促進を図ることとしている。				
事業連携	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-				

点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本調査研究は、大学・大学院において我が国の健康長寿社会の実現に必要な医療系人材の養成を着実にを行うため、国として取り組むべき施策の企画立案に活用するものであり、医学・薬学・看護学の各分野の最新の状況と課題に関する調査研究等、適切なテーマ設定を行い調査研究を実施した。 ・支出先の選定に当たっては従前の方法により公募を行い、妥当性や競争性を確保しているが、1件が一者応札となった。経費の執行に関しては、委託先から提出される実績報告書等において支出先・用途を把握し、委託費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・一者応札となった案件があったことから、公募情報の提供方法等について見直しを行う。経費の執行に関して、引き続き、事業年度毎に委託先から提出される実績報告書等において支出先・用途を把握し、委託費の使用状況や事業目的の整合性について厳しく確認を行う。

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業一部内改善の方向性

この事業は、一者応札・応募となっているものがあることから、不参加業者への聞き取り内容を厳密に分析し、更なる仕様等の見直しを行うなど、実効性のある対策について検討が必要である。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

改年善度を内検に

一部委託調査研究テーマにおいて一者応札となっていることに関して、不参加業者へのアンケート調査等による要因分析を踏まえた仕様や公告時期の見直し、関係機関への公告情報提供を行うことで、契約の競争性を確保するよう努める。

備考

成果物については、事業受託者がHP等(例:<https://ajmc.jp/activities/result/area-committee/>)で公表しているほか、文部科学省においてもHP等(例:https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/mext_01484.html)で公表している。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	新27-0020			
平成28年度	148			
平成29年度	150			
平成30年度	142			
令和元年度	文部科学省 - 0137			
令和2年度	文部科学省 0137			
令和3年度	2021 文科 20 0144			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

文部科学省
30百万円

大学及び大学院における医療人養成の在り方に関する調査・研究を委託し、その成果を踏まえて医学教育の改善・充実を図るとともに、成果を広く公表する。



委託【随意契約】

A.大学・大学団体等(4件)
30百万円

医師、歯科医師、その他の医療関係職種について、将来の医療提供体制の構築に向けて、大学・大学院において、今後どのような医療人材養成を行っていくべきか検討するための調査・研究を実施。

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.一般社団法人日本医学教育学会			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	雑役務費、消耗品費、諸謝金等	6			
再委託費	再委託費	3			
設備品費	設備品費	-			
計		9	計		0

